書いた人: @yuinejp

(本文書は <u>nrdplay</u> に含まれる PDF ファイルをもとに、現在の仕様に合わせて一部修正したものと なります)

## 本文書の目的

本文書ではOPMx2+SSGボードであるNBV4を<u>AE-TTL-232R</u>に接続して、WindowsからNRTDRVの曲データを再生する方法を説明します。

FTDI 社の FT232 シリーズには Bit banging モードが搭載されており、この機能で NBV4 を直接操作 します。

タイミング精度はそこまで良くありません。

・USB ホストコントローラ (PC 側) の性能にも依存します

・タイミングを気にされる方は SPFM Light でのパラレル出力をお薦めします

1. FTDI 社の USB シリアル基板の用意

FTDI 社の <u>FT232R</u> シリーズ以降を使用した USB シリアルを用意します。CTS/RTS があるものを ご用意ください (4 ピンのモノは不可)。

本文書では AYC02 でも利用可能な <u>AE-TTL-232R</u> を利用します。

本文書の内容は、以下の基板で動作確認をしています。

- <u>AE-UM232R</u> (FT232RL)
- <u>AE-TTL-232R</u> (FT232QR)
- <u>AE-FT232HL</u> (<u>FT232H</u>)

2. AE-TTL-232R と NBV4 の接続

1. JP1 のジャンパを 8x2 側に設定してください

2. 下記のように接続してください

名称	NBV4	<u>AE-TTL-232R</u>
クロック	P1-3: S	4: TXD
データ	P1-1: D	5: RXD
コントロール	P1-2: C	6: RTS
ラッチ	P1-4: R	2: CTS
GND	P1-7, P1-9: GND	1: GND

+5V PDFJ::Text=HASH(0x8045	P1-8, P1-10: 5V	3: +5V
e1420)		

NBV4にDC 給電している場合は不要です。

3. 信号電圧レベル (SW2: VIO) を 5V に設定してください

NBV4 に搭載した IC(SN74HCT241 および互換 IC) の性能によりますが、実際には 3.3V、5V のど ちらでも動作するかと思います。

動作不良の場合に見直してください。

接続例1



接続例2

• <u>NBV4-232R</u>



<u>NBV4-232R</u> は上記の配線と同等の接続を行うためのアダプタです。<u>AE-TTL-232R</u> と NBV4 を ケーブルなしで接続できるようになります。

今までに<u>MI68</u>やレトロエクスプレスなどのイベントで頒布しました。

3. FTDI 社のドライバのインストール

下記の URL からドライバを入手してインストールしてください。

http://www.ftdichip.com/Drivers/D2XX.htm

4. NBV4 制御ソフトウェアのダウンロード

下記のURIより最新の<u>nrdplay</u>ソフトウェアをダウンロードし、NRTDRV.EXEの下に<u>nrdplay</u>フォルダを作って各ファイルをコピーしてください。

http://realchip.yui.ne.jp/nbv4/nrdplay\_161230.zip

5. scci の設定

コピーした <u>nrdplay</u> フォルダ内の scciconfig.exe を起動して(NRTDRV.EXE のメニューからも起動 できます) NBV4 を設定してください。

ボードの設定内容は下記を参考にしてください。

ASLPLAY(CLI) で曲データを再生する場合は、設定済みの scci.ini と scci.dll を aslplay フォルダに コピーしてください。

6. 音量バランス調整用のテスト音を再生

NRTDRV.EXE の「設定 (S)」 「<u>nrdplay</u> 関連設定」 「<u>nrdplay</u> でテスト音を再生する」を選択し てください。

選択すると即座に下記のテスト音が発音されますので、各音源の音量が同じになるように NBV4 基板上のボリュームを調整してください。

OPM#1 SSG OPM#2 の順で「ドレミファソラシド」
OPM#1「ドレ」 SSG「ミファ」 OPM#2「ソラ」 OPM#1「シド」
OPM#1「ド」 SSG「ミ」 OPM#2「ソ」の和音
OPM#1 SSG OPM#2 の順で「ド」を無限に繰り返す

## 7. NRTDRV の曲データを再生

nrdplay で再生する場合

1.NRTDRV.EXE の「設定 (S)」 「<u>nrdplay</u> 関連設定」 「データの再生に <u>nrdplay</u> を使 用する」にチェックを入れます 2.MML ファイルをコンパイルします

ASLPLAY(CLI) で再生する場合

 NRTDRV.EXE の「設定 (S)」 「ASLPLAY 関連設定」 「データの再生に ASLPLAY を使用する」にチェックを入れます
「ASLPLAY のオプションを指定する」で「--rt」を追加します
MML ファイルをコンパイルします

## 付録

ソースコード

http://amethyst.yui.ne.jp/svn/realchip/nbv4/

NBV4

http://clogging.web.fc2.com/nbv4/

<u>NBV4 を購入する</u>

http://www.kadenken.com/shopdetail/00000000456/

NRTDRV

http://nrtdrv.sakura.ne.jp/

## AE-TTL-232R

http://akizukidenshi.com/catalog/g/gK-09951/

(以上)